

今後の取り組みについて

森地区まちづくりの会では、まちづくりの提案を実現していくためには、まちづくりの将来像である『文化の薫る わたしたちが誇れる 森のまち ～歴史文化を尊重した 安心・快適な暮らしと賑わいのある まちづくり～』を目指して、地域・住民・行政等と一緒に、継続的にまちづくり活動を進めていく必要があると考えています。

このため、とりまとめた「森地区まちづくりの会報告書」の内容について、まず、森地区の住民をはじめとする多くの方々に、知っていただくことが重要であると考え、今年度(平成25年度)においては、説明会を実施してきました。

(平成25年度 説明会の実施経過)

開催日	説明会等	備考
平成25年 8月29日	町長への説明	
平成25年 9月30日	森町の幹部職員への説明	
平成25年10月15日	町議会議員への説明	
平成25年11月18日	住民説明会	森地区24町内の正副会長及び会計

また、森地区の課題の重要性や緊急性等を考慮し、短期的な取り組みを整理しました。下記の提案を参考の上、官民協働のもと推進していただきたいと考えます。本会においても、これらの取り組みに積極的に参画していきたいと考えていますので、今後ご指導、ご支援のほどお願いします。

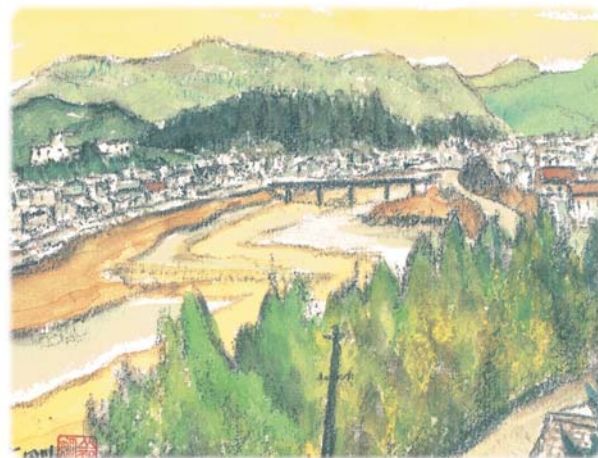
■ 短期的な取り組み

短期的な取り組みとして、森地区のまちづくりを考え推進する組織を立ち上げるとともに、地域の大切な資源である町屋や蔵の滅失への対応が急務であると考えます。このため、保全活動を推進するため、価値を再認識し、保全に対する意識の醸成が必要です。また、町屋や蔵の所有者と意見交換しながら、保全を進めるための検討を進める必要があります。

あわせて、空き家や空き地が増えている現状を踏まえ、これまで整備がされてこなかった都市基盤の整備や改良を進め、居住環境の向上を図る必要があります。

なお、今年度(平成25年度)において、地域資源の再認識や本地区内を回遊させる仕掛けの一つとして、「町歩きマップ」を検討・作成しましたので、ご報告します。

町歩きマップ▶



■ お問い合わせ先

森地区まちづくりの会

事務局/森町役場建設課内

〒437-0293 静岡県周智郡森町森2101-1

TEL: 0538-85-6321 FAX: 0538-85-4419

E-mail: kensetsu@town.morimachi.shizuoka.jp

URL: http://www.town.morimachi.shizuoka.jp/

表紙及び挿絵は、大須賀義明氏によるものです。

森地区まちづくりの会報告書

～まちづくりの取り組みへの提案～ 概要版

森地区*は森町の中心市街地であり、かつては火伏せ「秋葉山」への秋葉街道の宿場町として、また太田川の水運をいかし物資が集まる「古着の町」として栄えてきました。今でも江戸時代から続く古い町並み、商屋や土蔵などが残されています。しかし、時代の流れとともに、人口の流出や商店街の衰退が進むなど空洞化が進み、中心市街地のかつてのにぎわいが失われてきています。

また、本地区より南部に位置する遠州森駅周辺では土地区画整理事業等により、面的な整備が進められてきましたが、その一方で、本地区の都市基盤整備は遅れ、依然として狭小な道路が多く、上水道施設や排水路等の老朽化が進んでおり、整備が望まれているところです。

このような中、平成24年4月には、新東名高速道路が開通し、森町の新たな玄関口となる森掛川インターチェンジが開設されるとともに、本地区の玄関口である太田川に架かる「森川橋」の架け替えが完了し、大規模な都市基盤整備のインパクトをいかしたまちづくりの機運が高まっています。

そこで、歴史的な資源をはじめとする地域資源の活用や中心市街地の整備など、今後の本町の中心市街地におけるまちづくりのあり方を地域ぐるみで考え、取り組むため、平成23年度に「森地区まちづくりの会」を設立しました。

まちづくりの会では、森地区の問題点や課題を身近な視点から捉え、その解決やよりよいまちづくりを実現していくために、2年間にわたり検討を重ね、その成果を「報告書」としてとりまとめました。

また、平成25年度は、本報告書の内容を広く知っていただくため、森地区の住民(町内会長等)のほか、町議会議員、町の幹部職員に対し、説明を行いました。

今後は、本報告書が活用され、継続的な検討から実施へと進んでいくことを期待するとともに、私たち町民の手でできることから次なるステップへと進め、森地区の活性化、ひいては森町全体の活性化につなげていきたいと考えています。

※「森地区」:城下上、城下下、赤松、川向、本丁、開運町、川久保、大上、明治町、新町、仲横町、本町、川原町、下宿、大門、向天方下、向天方上の全部または一部

平成26年3月

森地区まちづくりの会 委員一同

森地区がめざす「まちづくりの将来像」を、次のとおり掲げました。

文化の薫る わたしたちが誇れる 森のまち

～歴史文化を尊重した

安心・快適な暮らしと賑わいのある まちづくり～

主役となる地域・住民等の積極的な参画のもと、町屋や蔵などの歴史的な町並みに代表される森地区の豊かな地域の資源をいかしながら、生活に最も基本的で欠かすことができない条件である安全・安心かつ快適な住環境づくりを進め、森地区に活気や賑わいをとりもどし高めるまちづくりをめざします。

「まちづくりの方向性」を、次のとおり掲げました。

安全・安心・快適な住環境づくりと定住の促進

生活していくうえで、最も重要で基礎的な条件である安全・安心かつ快適な住環境づくりを進めます。

- ①都市計画道路・新田赤松線の整備推進
- ②狭い生活道路の整備・改良
- ③排水路の改良・下水道の整備
- ④空き地対策の検討



歴史的な町並みなど豊かな地域の資源をいかし、賑わいを高めるまちづくり

歴史的な町並みに代表される森地区の豊かな地域の資源をいかして、賑わいを高めるまちづくりを進めます。

- ①町屋や蔵の価値の再認識
- ②町屋や蔵の保全と活用
- ③地域の資源をいかした賑わいを生みだす仕掛けづくり



地域・住民が積極的に参画するまちづくり

地域・住民が積極的な参画のもと、地域の個性豊かなまちづくりを進めます。

- ①森地区のまちづくりを考え推進する組織の育成
- ②まちづくり活動の拠点づくり

